

梶田 和美 議員



一括質問方式

- ①子どもを健やかに育む環境整備
- ②地域防災力の充実
- ③景観区域の無電柱化

子どもを健やかに育む環境整備について

**問** 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策が閣議決定され、迅速かつ的確に支援を行うため、特別定額給付金事業が実施された。

4月28日以降に生まれた新生児は対象とならなかったが、国の第2次補正での交付金の活用では、自治体が独自で行う給付金の支給に活用できるとした。

これにより、多くの自治体では給

付対象拡充などに取り組んでいるが、給付の対象とならなかった新生児に対する配慮はないか。

**答**

新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される中で、通院や買物など、日常生活において不安を抱えながら出産された方、また、これから出産を迎えられる方への対応として、出産されたご家庭の経済的な負担を軽減し、子どもの健やかな成長を支援するために給付を検討していきたいと考えています。



地域防災力の充実について

**問**

8月に予定されていたデジタルテレビを利用した防犯情報の提供の実証実験が遅れているが、進捗状況をお聞きする。

**答**

防犯情報提供の進捗状況は、6月議会会で8月頃から実証実験を行う予定と説明しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で

機器の開発が予定より遅れました。しかし、先般、実験機器の準備についてめどが立ちましたので、実証実験に向けて具体的な準備を進めていきます。

9月23日から25日の予定で、市内33地区の自主防災組織の会長宅ほか、各支所や防災センターなど市内40か所に実験機器を設置し、9月下旬以降から10月中旬までの予定で実証実験を行い、機器の設置や情報の受信状況について意見を聞く予定です。

こうした意見等を踏まえて、運用上の改善すべき問題点があれば、南海放送(株)と協議検討した上で、独居高齢者などから設置できるよう導入に向けた検討を進めたいと考えています。

景観区域の無電柱化について

**問**

各地で景勝地や観光地での無電柱化が進んでいる。このことにより景観が向上し、景観に対する意識が変化することで、景観形成と地域活性化の効果が見込まれる。

本市では無電柱化は進んでいない

が、肱南地区には今後ますます観光に力を入れることとであり、より一層の観光客の満足度向上に向け無電柱化計画の考えをお聞きする。

**答**

本市では、肱南地区を中心とした景観計画を策定し、良好な景観形成に向けた取り組みを進めています。その中で、大洲城を含む大洲城眺望景観保全区域やおはなはん通りを含む昔懐かしい伝統的景観保全形成区域では電線、電柱を見えない場所に設置することや地中化を推進することとしており、肱川橋の架け替え事業に合わせた国道56号の交差点改良事業では電柱の地中化を実施する予定です。

また、大洲城をはじめとした町家・古民家再生など、大洲の文化・歴史を活用した観光に取り組みしており、このような取り組みに併せて観光施設周辺の景観整備を行うことも必要であると考えています。

無電柱化には、電線類地中化や裏配線、軒下配線などの方法が考えられますが、今後はコスト面を含めて課題を整理し、どの方法が実現可能か検討し、良好な景観形成に努めたいと考えています。